

<p>ノーモア・ヒバクシャ 通信 第3号</p>	<p>発行：NPO 法人ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 6F Tel/Fax 03-5216-7757 (直通) Email hironaga8689@gmail.com 郵便振替口座 00170-5-694752 (口座名義) ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産基金</p>
<p>発行 2012年6月11日</p>	

4月20日付で東京都よりNPO法人の認証を得ることができました。

(1) NPO 法人設立記念集会「核時代を生きる～今こそヒバクシャの声を世界に・未来に～」
ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会では、NPO法人としてのスタートに当たり、会の役割と今日的な課題を広く市民の皆さんにお知らせするために次の集会を開催します。

- (名称) 「核時代を生きる～今こそヒバクシャの声を世界に・未来に～」
- (日時) 2012年7月15日(日) 13時～16時(12時開場)
- (会場) 有楽町朝日ホール(定員：600名)
- (参加費) 500円(高校生以下無料)

この集会は、通信2号を読んで実行委員会に参加して下さった方たちをはじめ、実行委員会形式で準備を進めています。

今回は、継承の取り組みを紹介するだけでなく、継承する側にスポットをあて、さまざまな形でヒロシマ・ナガサキの継承に取り組んできたみなさんから被爆者から受け取ったこと、想いをお話しいたします。

また、パネルディスカッションでは被爆者からフクシマを経験した今を生きるすべての人たちに伝えたいことを、齋藤紀先生(長年、広島で被爆者医療に従事、現福島わたり病院医師)からは福島で起きていること、香山リカ先生からはフクシマを契機に日本人の核に対する意識は変わるか、などをお話しいただく予定です。

チラシを同封しますので、ご家族をはじめ、お友だちや職場の仲間など、周囲のみなさんにも参加を呼びかけてください。チラシは増し刷り可。ご連絡いただければ必要部数お送りします。

また、下記のブログからもチラシはPDFでダウンロード可能です。

ヒバクシャ記憶遺産 <http://tkf-forum2011.blog.ocn.ne.jp/hibakusha/>

実行委員会に参加している若い世代の提案で7月15日の案内Webサイトの開設も検討

準備中です。開設しましたらこちらのアドレスに URL をアップし、お知らせします。

(2) 5月理事会を開催

2012年度第1回理事会を5月26日に開催しました。

2011年度事業活動報告・決算報告、2012年度事業計画・予算を承認するとともに、上記集会の「核時代を生きる」実行委員会の進捗状況や資料センターに関する論議を深めました。資料センター（構想の具体化とそのため委員会）については、今後も討議を続けることにしています。

(3) 被爆者・被爆者運動資料の調査・収集、保存関係

4/14（土）に事務局で日本被団協代表委員を務められた故藤平氏宅を訪問。ご遺族が用意しておいてくださった段ボール十数個分の資料のなかから日本被団協、東友会、中野長広会関係の被爆者運動資料（段ボール5箱分）を仕分けし、保管場所ができた時点でお預かりすることでご遺族のご了解を得ました。三重の故嶋岡氏の資料とも、保管・整理をおこなうスペースができれば整理作業に入れる状態です。

作業部会としては、これら資料の整理にあたりながら、資料収集、分類、目録作成の基準を立てていくことが当面の課題です。

(4) 既存施設等とのネットワークづくり

舟橋喜恵先生（当会理事、広島大名誉教授）が加納竜一氏（日本映画社プロデューサー、幻の「原爆記録映画」製作者）や森滝市郎氏、今堀誠二氏ら関係者のご遺族に連絡をとり、資料の現状についての確認を精力的にすすめてくださっています。

(5) 会員関係の動向

- ◆6月5、6の両日、日本被団協の総会が開かれ、運動方針に「会と協力して被爆者運動を記憶遺産として継承する活動をすすめていく」ことが盛り込まれました。また、そのために、被爆者一人ひとり、各都道府県・地域の被爆者団体ができる活動を明確にしてとりくんでいくことも確認されました。
- ◆被団協総会終了後の6日午後3時から開かれた「ノーモア・ヒバクシャ9条の会 全国交流会」には、会のメンバーも多数参加。「原爆と原発―被爆者として何を伝えるか」をテーマに、直野章子さん（当会理事、九大大学院准教授）の問題提起を受けて、真剣な発言が相次ぎました。
- ◆被爆者の声を受け継ぐ映画祭実行委員会より2012年の取り組みについて、協賛の要請があり了承しました。「被爆者の声を受け継ぐ映画祭」は今年で6回目を迎え、明治大学リバティホールで9月15日（土）、16日（日）に開催されます。9本の作品が上映される予定です。貴重な映像ですので、是非ご覧ください。

(6) 会の広報活動について

今後、この通信だけでなく、会員のみなさまへの情報発信と交流を目的としたメールマガジンを、会員以外の方への情報発信を目的としたWEBサイトの開設を準備しています。

どちらも開設し、公開準備ができ次第、入会時にメールアドレスをお知らせいただいたみなさまには、メールでご連絡させていただきます。

(7) 会員の組織状況 (6/11 現在)

正会員	179名
賛助会員	261名
賛助団体	41団体

(8) 財政 (2011年度決算)

詳細は (別紙)。7/15 の NPO 法人設立記念集会、資料センター準備室の開設など、いよいよ活動が本格的にスタートしました。今後、全国的な取り組みを進めるためにも多くの方に会員になって活動に参加していただくとともに、財政基盤も強化していかなくてはなりません。会紹介のリーフレットなど、ご連絡いただければお送りいたします。ご協力をお願いいたします。

(9) 2012年度会費納入のお願い

原爆体験の継承や資料センターの設立に向けて、活動を本格的な活動がはじまりました。2012年度の活動を開始するに当たり、まだ、今年度会費が未納のみなさまには今年度会費の納入を心からお願いいたします。寄付も随時受け付けております。

平成23年度 会計収支計算書

平成23年12月10日から平成24年 3月31日まで

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

(単位：円)

科目	金額		
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費収入			
会費	¥1,290,000		
賛助会費	¥453,000	¥1,743,000	
2 寄付金収入			
募金	¥409,500	¥409,500	
3 その他収入			
任意団体からの繰入金	¥1,500,000	¥1,500,000	
利息収入	¥54	¥54	
経常収入合計			¥3,652,554
II 経常支出の部			
1 事業費			
(1)記録・資料の調査、収集、整理、保存事業費	¥19,550		
(2)原爆被害者運動関係の調査、研究事業費	¥46,920		
(3)共同ネットワークの構築事業	¥93,500		
(4)啓発事業	¥0		
(5)広報事業	¥101,898	¥261,868	
2 管理費			
総会・理事会会場費	¥157,135		
役員交通費	¥288,280		
事務局交通費	¥255,946		
通勤交通費	¥233,110		
消耗品費	¥769,107		
通信運搬費	¥179,565		
雑費	¥35,346		
租税公課	¥0	¥1,918,489	
経常支出合計			¥2,180,357
経常収支差額			¥1,472,197
当期収支差額			¥1,472,197
前期繰越収支差額			¥0
次期繰越収支差額			¥1,472,197